

吉村病院における勤務医負担軽減及び処遇の改善に対する体制計画

2024年3月

2023年度 勤務医状況

1. 医師数 常勤 5名 非常勤 65名

<常勤医師内訳>

外科2名、リハビリテーション科1名、整形外科1名、放射線科1名

<非常勤医師内訳>

消化器科3名、整形外科12名、内科2名、外科5名、循環器内科2名、泌尿器科1名、 当直診療援助 40名

2. 他医療機関からの日当直支援回数 約30回/月

3. 常勤医師当直回数 0回/月(2023年4月～2024年3月実績)

前年度までの取組及び今後の目標

当院では、勤務医師の負担軽減の計画として、医師事務作業補助者の配置を行ない勤務医負担軽減を図ることを目標とする。

1. 医師事務作業補助者の増員
2. 常勤医師、非常勤医師の増員
3. 業務の見直し

今後の目標

さらなるタスクシェア・シフトを目指し、有資格者の積極的活躍推進とシステム導入を強化

項目	現状	2023年度目標	目標達成に必要な手順	達成状況
				2023年度
医師事務作業補助者の配置	4名配置 (+1名産休中)	医師事務作業補助者4名配置	・適正配置、採用活動	次年度より育休明けにて5名体制に戻る予定。人事異動も視野に採用活動は継続する。
医師の人員不足	常勤医内訳を参照	整形外科医の増員 総合診療科等の幅広い対応をする医師増員 外科、麻酔科医の増員	・近隣の大病院への支援を要請 ・積極的な採用活動実施	整形外科の非常勤医師増員の目途が立ったため、次年度より診療体制を見直す。 外科も非常勤医師が週1ではあるが増員。 今後は麻酔科医師、訪問担当を積極的に採用予定。
初診時の予診の実施	一部実施	継続	-	必要時看護師、医師事務にて問診を行っている。
静脈採血等の実施	実施済み	継続	-	外来看護師にて採血を実施している。
入院の説明の実施	外来看護師にて入院の説明を実施している。	入院時のオリエンテーションについて 医師事務が対応可能か検討	医師事務が受け取ることができるものがあるかどうかを確認する	有資格者からの説明が望ましい内容も多くあるため可能な範囲でタスクシフト・シェアを継続検討する。
検査手順の説明の実施	実施済み	継続	-	看護師、検査技師、放射線技師が実施している。
薬の説明や服薬の指導	実施済み	継続	-	薬剤師にて服薬指導(退院時)を実施している。
予定入院の検査オーダーについて	現在、患者が来院し、診察を行ってから検査オーダーを入れている。	必要な検査セットなど可能な範囲で定型化	入院予定の患者の把握 整形外科の検査セット検討	診療科、医師によって内容が異なるため継続検討。
発熱外来	PCR検査証明書を特定職員が作成している	その他の当院書式同様の対応を検討	院内ルールの整備	院内ルールに則り、実施している。
退院サマリー入力	医師補助にて整形外科、外科の退院サマリー入力を実施	継続	-	外科の手術症例ではない退院サマリーについて医師事務作業補助者が入力を実施している。
訪問診療	訪問診療の書類をどう対応していくか	訪問診療の書類について確認し、運用を考える	担当医師が基本的に記入 担当医師が書類作成しやすいように電子カルテや体制を整えていく	継続検討する。
当直翌日の業務内容に対する配慮	実施済み	継続	-	常勤医師による当直・夜勤は実施していない。
交替勤務制・複数主治医制の実施	実施済み	継続	-	常勤医師による当直・夜勤は実施しておらず、必要時は他医へのコンサル依頼を実施している。
連続当直を行わない勤務体制	実施済み	継続	-	当直は非常勤医師にて当番制で実施している。
前日の終業時刻と翌日の始業時刻の間の一定時間の休息時間の確保	実施済み	継続	-	翌日始業時刻までの休息時間は確保できている。
予定手術前日の当直や夜勤に対する配慮	実施済み	継続	-	常勤医師による当直・夜勤は実施していない。

※達成状況については、改善した都度記載していくこととする。